

平成24年度 第3回 東海村村長記者会見資料

平成24年12月26日(水) 10:30-11:30

No.	担当課	案件名	ページ
1	総務課	東海村村民栄誉賞, 東海村文化・スポーツ特別賞の贈呈について	1
2	まちづくり 国際化推進課	東海村と原子力の将来像 「TOKAI原子力サイエスタウン構想」 について【別冊資料あり】	2
3	消防防災課	東海村地域防災計画の改定について	3-4
4	環境政策課	再生可能エネルギー導入促進事業について	5
5	介護福祉課	チャレンジUPオフィス勤務 知的障がい者事務員募集について	6
6	政策推進課	平成25年1月8日(火) 東海村賀詞交歓会について	7
7	消防防災課	平成25年1月13日(日) 平成25年東海村消防出初式について	8-9
8	環境政策課	平成25年2月16日(土) 第11回とうかい環境フェスタについて	10-11
9	総務課	平成24年第4回 東海村議会定例会(12月)議案一覧について	12-14

東海村村民栄誉賞 東海村文化・スポーツ特別賞

12月6日、今年度から新たに設けられた「東海村村民栄誉賞」および「東海村文化・スポーツ特別賞」の表彰式が行われました。

この表彰は、東海村の名声を高めるとともに、広く村民に明るい希望と誇りを与える功績があった方に贈られるもので、このたび、各分野から初めての受賞となる3人の方々に表彰状と記念品が贈られました。



村民栄誉賞 ^{てらかど りゅういち} 寺門 龍一さん(石神外宿在住)

「歌会始の儀」で詠進歌が披露

「岸」を御題とした詠進歌が「選歌」として選ばれ、平成24年1月に皇居・宮殿で開かれた「歌会始の儀」で披露されました。この詠進歌は東日本大震災からの復興への願いを込めて歌ったもので、18,830首の中から選ばれました(「選歌」は10首)。



村民栄誉賞 ^{ながみや ましひろ} 永宮 正治さん(前・J-PARCセンター長)

科学技術研究の進歩に貢献

原子核物理研究の世界的権威であり、「J-PARC(大強度陽子加速器施設)」の建設を成し遂げました。

建設後は、初代J-PARCセンター長として、世界屈指の最先端科学研究拠点の確立に尽力してきました。



文化・スポーツ特別賞 ^{よしむら まほると} 吉村 真晴さん(村立白方小学校卒業)

日本の頂点に立つ卓球選手として活躍

「平成23年度全日本卓球選手権大会」男子シングルスで、高校生としては史上2人目となる日本一になったほか、「第17回アジア・ジュニア卓球選手権大会」男子シングルスでは日本人選手として初優勝、「世界ジュニア卓球選手権大会」では、男子シングルス、男子ダブルスとも3位入賞という成績を収めました。

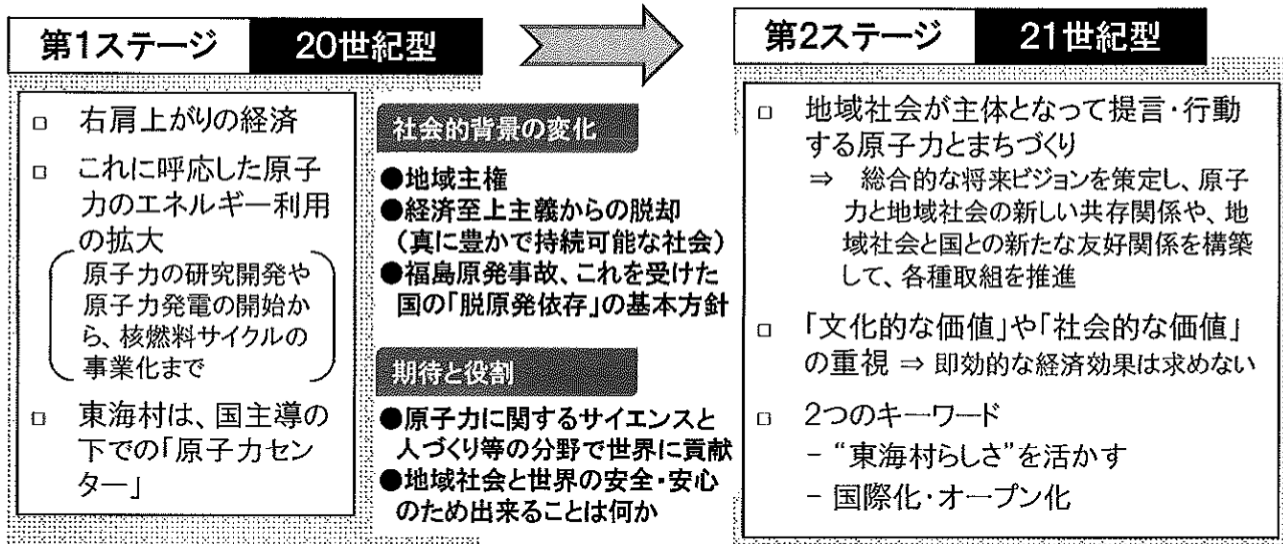
問い合わせ▼総務課総務法制担当(☎282-1711 内線1312)

“TOKAI原子力サイエンスタウン構想”の理念・視点

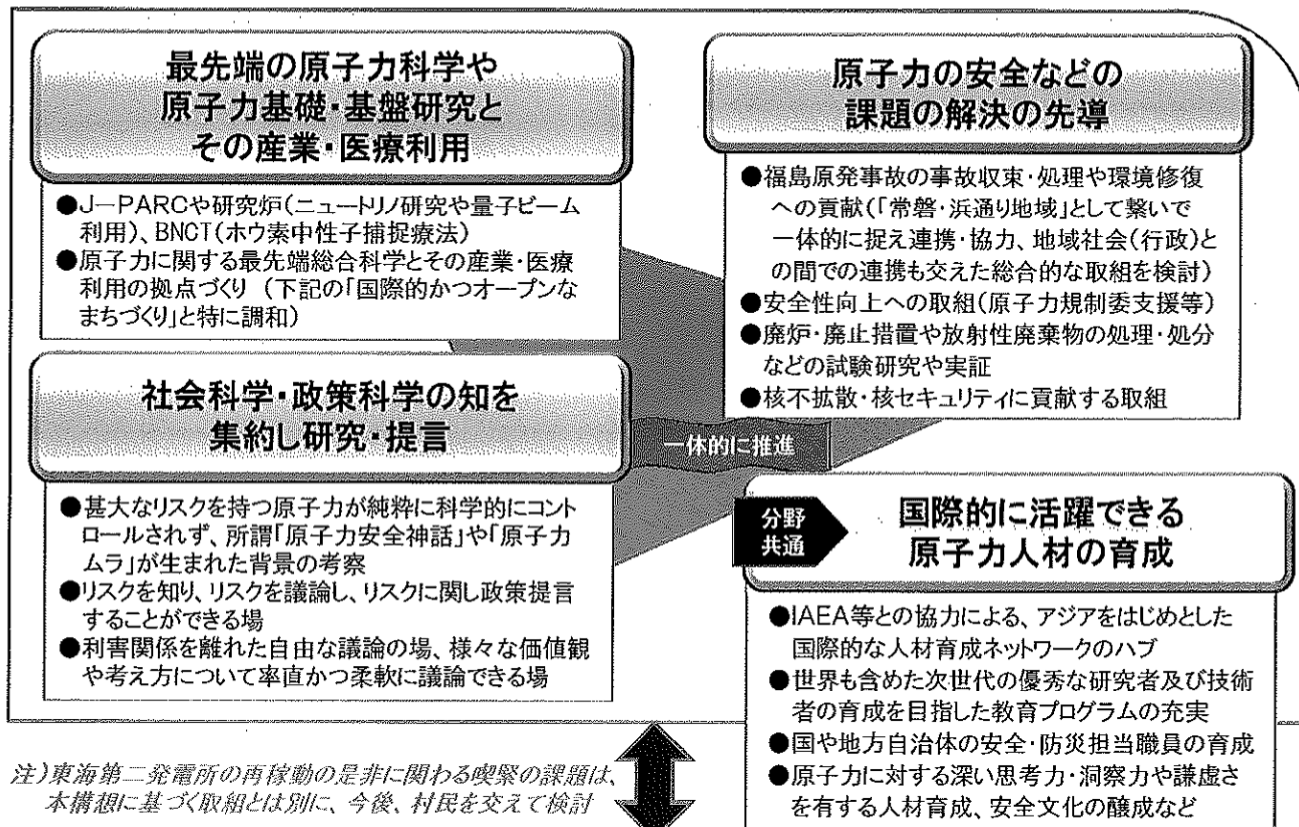
原子力に関するサイエンスと人づくり等の拠点として世界に貢献する『21世紀型の新たな“GOE(Center Of Excellence)”』とすることを旨とし、併せて、このような原子力と地域社会とが調和したまちづくりを推進

東海村の特徴(東海村らしさ)

- 我が国の原子力を半世紀にわたって先導(パイオニア)し、原子力利用の重さも体感(=大事故を経験)
- 原子力の研究開発を総合的に実施できる高度な人材と施設・設備が集積(世界的にも稀有)
- 多くの科学者・技術者がこの地域に終の棲家を得ており、地域社会と原子力が融合し文化が創造されつつある



TOKAI原子力サイエンスタウンが目指す方向性【優先順位はなく同等】



上記の方向性と調和する国際的かつオープンなまちづくり

研究・生活・滞在環境の整備、科学・文化・地域交流の推進などを推進し「多文化共生社会」を形成



東海村地域防災計画の改定について

東海村消防防災課

担当 山本・稲田

Tel.282-1711(1522)

I 見直しの必要性

東日本大震災による被害を受け、国は昨年12月に防災基本計画を修正し、茨城県は今年3月に県地域防災計画を見直した。本村では大震災の教訓を活かした防災対策の見直しが急務であり、今般、東海村地域防災計画を8年ぶりに全面改定する。

II 改定の基本方針

(1) 大震災の教訓を取り入れ、まちづくり推進プランを踏まえた総合的な見直し

今回の改定では、東海村第5次総合計画に加え「東日本大震災の教訓を活かしたまちづくり推進プロジェクト」を重要総合プロジェクトとして設定し、「復興支援の強化」「災害に強いまちづくり」「生活スタイルの転換」を総合的に推進するために策定した「東日本大震災の教訓を活かしたまちづくり推進プラン」を反映する。

(2) 村計画の構成を全面的に改定

県計画と構成を整合させ、基本事項と対策を村の実情に合わせて編集する。

(3) 各計画との相互関連による防災体制の確立

地域防災計画とまちづくり推進プランに加えて避難マニュアルと避難所運営マニュアルを作成し地域に提示し、村の防災体制の確立を図る。

III 主な改正点と具体的な取組

(1) 災害時要援護者対策の強化

災害時要援護者の避難誘導や福祉避難所の整備を講じる上で、高齢者、障がい者、難病患者、妊産婦、外国人等の災害時要援護者に配慮する。

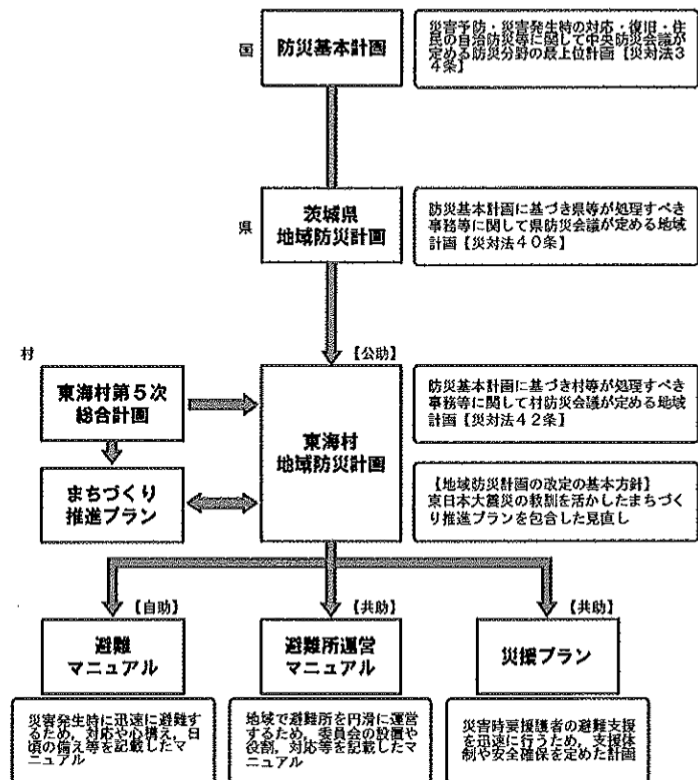
⇒ 災害時要援護者避難支援計画の策定・運用、福祉避難所の整備、国際センターとの連携強化

(2) 減災に重点を置いた防災対策の推進

住民の避難行動を軸とし、人命を守る対策を最優先にする観点から、「自助・共助・公助」の各主体におけるソフト対策を推進するとともに、公共施設やライフラインの耐震化等のハード対策を推進する。

⇒ 防災教育の強化、自主防災組織の運営補助、自主防災組織間及び他団体との情報交換

⇒ 学校の新築、公共施設の耐震補強、上下水道管の耐震化、幹線道路等の整備・高規格化



(3) 基幹避難所等の整備

各コミセン、照沼小学校、総合福祉センター「絆」、総合体育館を基幹避難所とし、資機材等を備蓄し井戸を整備するとともに、「絆」を福祉避難所とする。

⇒ 避難所の整備、災害用備蓄の充実・強化、災害時生活用水・トイレの確保

(4) 情報伝達手段の見直し

災害時の情報通信手段の整備に取り組み、住民に正確かつ迅速に情報を伝達するために、非常時における複数の通信手段の確保と通信設備の強化を推進する。

⇒ エリアメールの導入、防災行政無線屋外放送塔バッテリーの増強、MCA無線の増設

(5) 津波災害対策計画編を新設

津波対策の強化を図るため、防災教育、ハザードマップの活用、津波情報の収集・伝達、原子力事業所との連絡の強化など発災時の対策を具体的に記載する。

⇒ 津波防災教育の強化、地域における津波避難訓練の実施、海拔表示

(6) 節・項目ごとに担当を明記

計画の節・項目ごとに対応する担当班（担当課）を記載し明確化することで、平常時から役割を認識し、災害時には速やかに所定の業務へ移行する。

(7) 分掌事務の見直し

被災者支援を強化するために福祉部等8課で「住民福祉班」を編成し、発災時の即時対応を目指すほか、業務量の偏りを解消するために組織を改編する。

(8) 相互応援協定による連携強化

他県の市町村や事業者と災害時応援協定を締結し、連携体制の強化を図る。

(9) 東海地震等発生時の具体的な対応を記載

東海地震や首都直下地震の発生確率の高まりを鑑み、「東海地震等の警戒宣言発令時の対応措置計画」を新たに「付編」に記載する。

第5 東日本大震災の教訓 ～「地震災害対策計画編」2ページから抜粋～

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波やその後の余震の影響により、特に東北地方や関東地方の太平洋沿岸部において未曾有の大規模地震災害を経験した。

村は震度6弱の地震に襲われ、電気・上下水道・ガス等のライフライン機能が停止し、道路や家屋の損壊が発生したほか、津波による耕地の冠水や、学校教育施設、社会教育施設、集会施設等も損傷し、使用停止を余儀なくされるなど、村内全域にわたって甚大な被害もたらされた。

震災直後は15箇所の避難所に全村民のおよそ10%に相当する3,514人が避難する事態となったなか、村民が中心となって避難所を運営し、続々と避難してくる近隣住民の安全を確保することができた。苦しく辛い時にも相手を尊重し、思いやりのある村民の行動があったからこそ、人と人が手を取り合い助け合うことでコミュニティの結束を生み出し、パニックに陥ることなくこの苦難を乗り越えられた。

東日本大震災は、地震、津波、原子力発電所事故という複合災害であり、災害対策における多種多様な課題を浮き彫りにした。今後、災害に対する地域防災のあり方を再検証し、これらの経験で得られた課題や教訓を享受して、具体的な形で備えにつなげることが大切である。

住民の生命・身体・財産・尊厳を守るため、村民・事業者・行政が一丸となって災害に強いまちづくりに取り組むにあたり、本計画を地域防災の基礎として位置づけ、村の実情に合わせながら改定を加えていくものとする。

再生可能エネルギー導入促進事業 (屋根貸し, 土地貸しによる太陽光発電事業)

環境政策課 環境計画推進担当
内線 1453 1454

・本村では、12月11日から再生可能エネルギー導入促進の一環として、村有施設の「屋根貸し, 土地貸し」による太陽光発電事業の参加事業者の公募を開始したところ。

・対象となる村有施設は、役場庁舎（駐車場）、総合福祉センター（駐車場）、白方, 中丸の両コミュニティセンター（屋根）の4ヶ所。

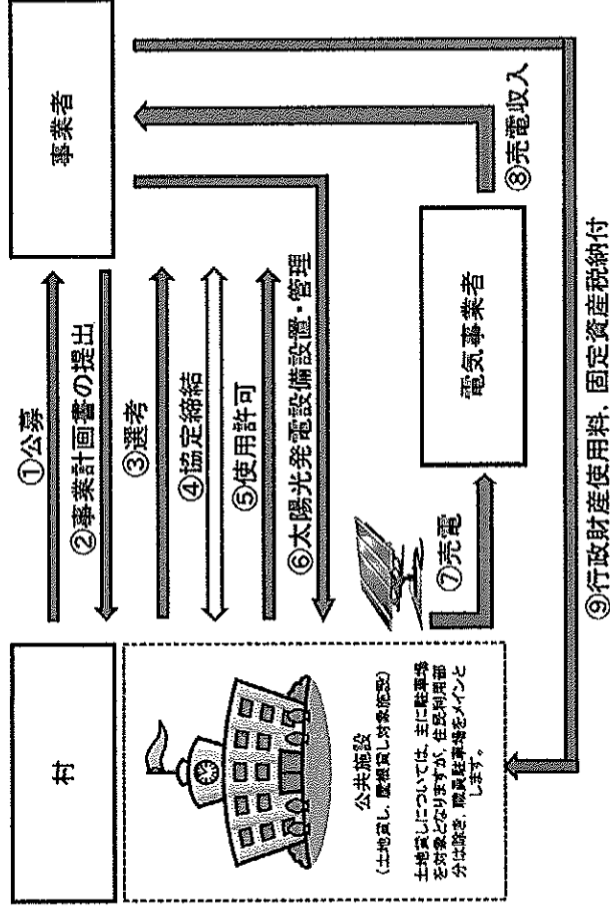
・応募は、4件で、年明けの選考委員会を経て、参加事業者を決定し、協定を締結する予定。

・『第3次エコオフィスプラン』の重要施策「公共施設における使用電力量の20%以上を太陽光発電で賄う」を達成するためには、およそ2.5MWの太陽光パネルの設置が必要となる（環境政策課試算）。

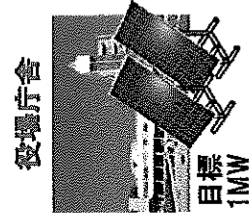
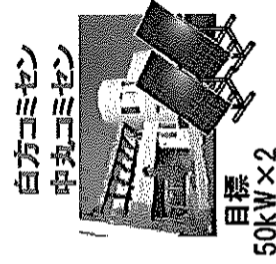
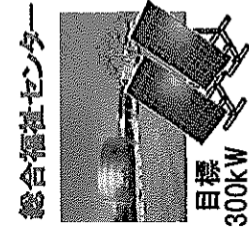
・右記の目標値を達成した場合、村有施設における太陽光発電パネル設置量は既設を含め約1.6MWとなり、64%の達成率となる。

・村有施設の屋根等を貸して行う新たなビジネスモデルを発信することによって、地元産業の活性化と再生可能エネルギーに対する村民の関心を高めることを期待している。

《土地貸し, 屋根貸し事業による太陽光発電事業のスキーム》



太陽光パネルの目標値



「知的障がい者事務員」を募集します

問い合わせ
なごみ・総合支援セン
ター(☎287局2525)

チャレンジショップとは...

村では、平成23年4月から知的障がい者2人を事務職(非常勤嘱託員)として雇用し、主に郵便関連業務や廃棄文書のシュレッダー処理、各課からの依頼業務への対応を担当する「チャレンジUPオフィス」を開設しています。最大3年間の業務経験を基に民間企業へのステップアップを目指しています。これは、村が率先して知的障がい者の雇用を創出することにより、知的障がい者に事務職は無理というイメージを払拭するとともに、雇用のモデルケースとして位置付け、民間企業への雇用拡大につなげてもらおうというものです。

また、今年5月からは新たに障がい者就労コーディネーターを雇用し、オフィスの取り組みや障がい者雇用、職場体験実習への協力・理解を得る活動を積極的に展開しています。

●●主な業務●●

●● 庁内の郵便関連業務 ●●

役場から発送する郵便物の処理(約1000通/日)。



●● 役場に届いた郵便物や荷物を仕分けし、担当課に配布(約250通/日)。



●● 廃棄文書のシュレッダー処理 ●●



庁内の廃棄文書のシュレッダー処理(約3万2000枚/月)。

●● 各課からの依頼業務 ●●

書類の封筒詰め、パンフレットの修正等。

「知的障がい者事務員」を募集します

◆業務内容

庁内の郵便関連業務、廃棄文書のシュレッダー処理、各課からの依頼業務への対応等

◆雇用要件等

①知的障がい者(療育手帳等で確認)②村内在住③東海村役場まで自力での通勤が可能(を満たす方(1人程度))

◆雇用期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日(更新の可能性あり)

◆勤務日時

月曜日から金曜日まで(祝日を除く)の午前9時～午後4時

◆報酬等

報酬：月額9万1000円
諸手当：通勤手当 福利厚生
：社会保険(健康保険・厚生年金保険)と雇用保険に加入

◆試験内容

期日▼2月16日(土)
時間▼午前10時から(午前9時30分受け付け開始)
場所▼東海村役場
内容▼①筆記試験(漢字、計算、作文)②面接試験③実技試験(郵便の仕分け、簡易作業等)

◆申し込み・問い合わせ

1月31日(木)まで(土・日曜日と祝日、12月29日(土)～1月3日(木)を除く)の午前8時30分～午後5時15分になごみ・総合支援センターへ申し込み・総合支援センターへ持参してください。

東海村知的障がい者チャレンジUP雇用事業

東海村では、平成24年4月から知的障がい者2名を事務職(非常勤嘱託員)として雇用し、主に郵便関連業務や廃棄文書のシュレッダー処理、各課からの依頼業務への対応を担当する「チャレンジUPオフィス」を開設しています。最大3年間の業務経験を基に民間企業へのステップアップを目指しています。

<障がい者雇用の現状>

障がい者への就労支援の充実は、自立した社会生活を送る上で大きな課題です。近年、社会で活躍する障がい者は増加傾向にありますが、未だ障がい者を取り巻く雇用環境は厳しい状況が続いています。

平成23年6月1日現在、県内の民間企業で働く障がい者数は3,870.0人、うち身体障がい者が2,905人に対し、知的障がい者数は848.5人とどまっている現状です。

<目的と効果>

村が率先して知的障がい者の雇用を創出することにより、「知的障がい者に事務職は無理」というイメージを払拭するとともに、雇用のモデルケースとして位置付け、民間企業での雇用拡大につなげようというものです。

<オフィス開設までの歩み>

H21.12	(株)日立製作所 特例子会社「日立ゆうあんどあい」見学
H22.4	政策会議に付議 (計画を推進していくことで採択。詳細はワーキングチームを結成して議論)
H22.5~8	知的障がい者チャレンジUP雇用準備ワーキングチーム <会議:4回/視察:1回/調査:1回>
H22.9	政策会議に付議 (ワーキングチームで検討した内容を採択)
H22.12	事業概要を公表
H23.2	指導員(1名)雇用
H23.2	知的障がい者事務員採用試験 筆記(漢字, 計算, 作文), 実技, 面接
H23.4	知的障がい者事務員(2名)雇用
H24.5	障がい者就労コーディネーター(1名)雇用

<オフィス開設後の業務改善成果>

▼ 総務課職員が郵便関連業務に充てていた時間を削減

▼ 各課の庶務担当者が費やしていた3階ポストへの往復時間を削減

従来…10分/人 × 30課 = 300分/日

現在…15分/人 × 2人 = 30分/日

※ 時間を1/10に削減

▼ 各課・各担当が抱え込んでしまっていた個人情報を含む廃棄文書を毎日回収し、保管・処理することで適切に処理

▼ 処理に時間を要する庶務的業務をオフィスが請け負う

<依頼された主な業務>

* 書類折り, 封入, 宛名シール貼付, のり付け

* パンフレットの修正作業(修正箇所へのテプラシール貼り)

* 書類の並び替え(交付番号順)

* 計画書の製本作業

* 書類へのナンバーリング

など

- 職員は空いた時間を有効に活用できる
- より専門性の高い業務を担える

村長記者会見資料（開催通知）

平成 25 年東海村賀詞交歓会開催のご案内

謹啓

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新春恒例の賀詞交歓会を下記のとおり開催することになりました。各界各層の皆様が一堂に会し、東海村の飛躍発展を目指し、新春のひとときをお過ごしいただきたいと存じます。

ご多用とは存じますが、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

謹白

平成 24 年 11 月 吉日

発起人代表	東海村商工会会長	照沼 政直
発起人	東海村自治会連合会会長	黒羽根弘一
同	ひたちなか農業協同組合 東海地区担当理事	仲田 進
同	東海村消防団団長	河野 武
同	東海村文化協会会長	萩野谷 博
同	東海村民生委員・児童委員協議会会長	河野 進
同	日本原子力研究開発機構理事	横溝 英明
同	東海村議会議長	村上 邦男
同	東海村長	村上 達也

記

日時 平成 25 年 1 月 8 日（火） 午前 11 時～12 時 30 分
受付 午前 10 時 30 分から

会場 東海会館

会費 3,000 円（当日会場で申し受けます）

申込 平成 24 年 12 月 10 日（月）まで

申込先 東海村商工会事務局 FAX 029-283-0498

問合先：東海村商工会事務局 電話 282-3238

（〒319-1108 東海村村松北一丁目 2 番 34 号）

東海村役場政策推進課秘書担当 電話 282-1711（内線 1302）

平成25年東海村消防出初式

平成25年の年頭にあたり、東海村における消防の人員・装備を披露し、村民に対する防火・防災意識の啓発と職・団員の士気高揚を図り、併せて、防火防災関係者・村民一体となった安全で安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的に、新春恒例の消防出初式を挙ります。

出初式では、幼年消防クラブの演技、消防車両・職・団員・防火防災関係者による行進が行われます。

日 時 平成25年1月13日(日) 午前9時30分から11時30分
場 所 東海文化センター及び周辺
問い合わせ先 東海村消防防災課(電話 029-287-0853)

平成25年東海村消防出初式実施内容

- 1 日 時 平成25年1月13日(日)
午前9時30分から11時30分
- 2 場 所 東海文化センター及び周辺
- 3 目 的 東海村の現消防力、人員・装備を披露するとともに消防団・自衛消防隊・幼年消防クラブ・自主防災組織・婦人防火クラブ等の防災関係者の士気高揚を図り、また、村民に対する防火・防災意識の啓発を行い、防火防災関係者・村民一体となった安全で安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的に実施いたします。
- 4 内 容
 - ① 式 典
消防庁長官表彰、茨城県知事表彰、茨城県消防協会長表彰、茨城県消防協会長表彰、東海村長表彰、東海村消防団長表彰
 - ② 幼年消防クラブ(宿幼稚園、舟石川幼稚園、南台保育園、サンフラーこどもの森保育園)による遊戯。
 - ③ 消防団による操法(第4分団)。
 - ④ 分列行進及び観閲
- 5 参加機関
ひたちなか・東海広域事務組合消防本部 東海消防署
東海村消防団
独立行政法人 日本原子力研究開発機構
東海研究開発センター 原子力科学研究所
東海研究開発センター 核燃料サイクル工学研究所
日本原子力発電株式会社 東海発電所・東海第二発電所
東京電力株式会社 常陸那珂火力発電所

百塚区自治会自衛消防団
 南台区自治会自主防災会
 原子力機構百塚区自治会自主防災組織
 原子力機構箕輪区自治会自主防災組織
 緑ヶ丘区自治会自主防災会
 舟石川三区自主防災防犯委員会
 豊白区自治会自主防災組織
 村松北区自治会自主防災組織
 真崎区自治会自主防災組織
 舟石川一区自治会自主防災組織
 豊岡区自治会自主防災組織
 まさき美咲会婦人防火クラブ
 舟石川小学校少年消防クラブ
 南台保育園幼年消防クラブ
 宿幼稚園幼年消防クラブ
 舟石川幼稚園幼年消防クラブ
 サンプラワーこどもの森保育園幼年消防クラブ

6 式次第

(1) 式典(文化センター内)

- | | |
|-------------|---------|
| ① 開式宣言 | 9 : 30 |
| ② 国歌斉唱 | |
| ③ 消防殉職者慰霊黙祷 | |
| ④ 式辞 | |
| ⑤ 表彰 | 9 : 45 |
| ⑥ 祝辞 | 10 : 05 |
| ⑦ 閉式宣言 | 10 : 25 |

(2) 演技(文化センター周辺)

- | | |
|--|---------|
| ① 幼年消防クラブ演技 | 10 : 35 |
| (南台保育園, 宿幼稚園, 舟石川幼稚園, こどもの森保育園幼年消防クラブ) | |
| ② 消防団操法(第4分団) | |

- | | |
|----------|---------|
| (3) 分列行進 | 11 : 05 |
| (4) 観 閲 | 11 : 20 |
| (5) 閉 式 | 11 : 25 |

7 その他

- ① コーヒー・スープの無料配布を実施。
- ② 荒天時は、午前9時30分から東海文化センターにおいて、式典のみを実施いたします

第11回とうかい環境フェスタについて

とうかい環境フェスタは2002年から毎年開催されており、今回で11回目を迎えます。来場者は毎年増えており、昨年度は約2,000名の来場者数となりました。フェスタの開催には、村内の住民や事業者からなる「とうかい環境フォーラム実行委員会」が企画・運営しております。

今年度におけるフェスタの実施要領は次のとおりとなります。

1 日 時

平成25年2月16日(土) 午前10時から午後3時まで(予定)

2 場 所

東海村総合体育館(住所:東海村船場768)

3 目 的

「伝えよう 子どもたちに 水と緑ゆたかな ふるさとを」をフェスタのテーマとして、基調講演や約30団体からなるブース出展を通じて村民の環境意識を高めることを目的としています。

4 内 容

- ・エコカー大集合(茨城三菱, 茨城日産, 茨城トヨタ)
- ・基調講演(NHK水戸放送局 気象予報士 本庄 美奈子 氏)
- ・小学生による環境学習発表(照沼小学校)
- ・環境ポスター展示
- ・もったいないバザー
- ・環境配慮品抽選会
- ・各団体・企業によるブース出展
- ・軽食販売

照沼小学校
環境活動発表会

基調講演

「お天気と農産物の
深～い関係 in 茨城」

講師 本庄美奈子さん
NHK 水戸放送局 気象キャスター



人と自然との
共生をめざして

第11回 とうかい 環境フェスタ

2013年2月16日(土) 午前10時～午後3時

入場無料

会場：東海村総合体育館

～伝えよう 子どもたちに 水と緑ゆたかな ふるさを～

みんなでエコカーに乗ってみよう!

エコカー
大集合



大抽選会

豪華賞品を用意しています

スタンプラリー

スタンプを集めて景品をもらおう

軽食販売

とん汁
焼きそば
まぜご飯
その他

もったいない
バザー

主催 とうかい環境村民会議

運営 とうかい環境フォーラム実行委員会

問合せ 東海村経済環境部環境政策課

TEL.029-282-1711(内線1453)

平成24年第4回 東海村議会定例会 提出議案等一覧表

会期：平成24年12月3日（月）～12月18日（火）

番号	提出議案名	提出課名	備考
承認第6号	専決処分の承認を定めることについて（平成24年度東海村一般会計補正予算（第6号））	財務課	
議案第68号	東海村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	指導室	
議案第69号	東海村奨学基金及び奨学金貸与に関する条例の一部を改正する条例	学校教育課	
議案第70号	東海村学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	社会福祉課	
議案第71号	東海村水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	水道課	
議案第72号	東海村水道加入分担金徴収条例の一部を改正する条例	水道課	
議案第73号	東海村水道事業給水条例の一部を改正する条例	水道課	
議案第74号	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	総務課、財務課、 経済課、図書館	
議案第75号	平成24年度東海村一般会計補正予算（第7号）	財務課	
議案第76号	平成24年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	財務課	

議案第77号	平成24年度東海村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	財務課
議案第78号	平成24年度東海村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	財務課
議案第79号	平成24年度水戸・勝田都市計画事業東海駅西土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	財務課
議案第80号	平成24年度水戸・勝田都市計画事業東海駅東土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	財務課
議案第81号	平成24年度水戸・勝田都市計画事業東海駅西第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	財務課
議案第82号	平成24年度水戸・勝田都市計画事業東海中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	財務課
議案第83号	平成24年度水戸・勝田都市計画事業東海村公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	財務課
議案第84号	備品購入契約の締結について	消防防災課
議案第85号	財産取得の変更について	都市政策課
議案第86号	村道路線の廃止及び変更について	みちづくり課
議案第87号	村道路線の変更について	みちづくり課

議案第88号	公有水面埋立てに関する意見について	政策推進課	
同意第5号	東海村固定資産評価審査委員会委員の選任について	税務課	追加議案